

平成30年度 学校経営方針

平成30年4月1日
日田市立日隈小学校

【大分県教育委員会の重点方針】

- 一「教育県大分」の創造に向けて—
- 1 子どもの力と意欲の向上に向けた組織的な取組の推進
 - 「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上
 - ① 学校マネジメントの深化 ② 授業改善の徹底
 - ③ 体力向上の推進・健康課題への対応 ④ いじめ・不登校対策等の推進
 - 子どもと向き合う時間の確保に向けた学校における働き方改革の推進
 - ① 「チーム学校」の実現 ② 部活動の改革
 - ③ ICTの活用等における業務改善
 - 2 地域を担う人づくりと活力ある地域づくりの推進
 - 3 教育環境の整備
 - 特別支援学校の再編整備
 - 産業教育施設・整備
 - 屋内スポーツ施設

【日田市学校教育の重点方針】

- 「夢と誇りをもって、たくましく生きる児童・生徒の育成」
- <重点方針1>
「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上
- ① 児童生徒の「学力向上」「体力向上」「いじめ不登校対策」の充実と「チーム学校」の推進
 - ② 咸宜園教育の理念を生かした学校経営
 - ③ 縦の連携・接続と横の連携の促進
- <重点方針2>
安全・安心な学校づくりや危機管理の徹底
- <重点方針3>
未来を切り拓き、ふるさとを愛する心をはぐくむ教育活動の充実

☆「大分県教育委員会」の方針及び「日田市教育委員会」の方針を背景にして

1 教育方針

学校創立146年、分割移転後開校66年を迎える歴史と伝統に培われた「日隈小の教育」と地域の風土や特性を受け継ぎながら、教育の基礎を知・徳・体の調和のとれた教育実践におき、豊かな人間性と学びに向かい続ける力を身につけ、たくましく行動できる子どもを育成し時代の要請に応え得る教育の創造に努める。

「268名の子どもを27名の教職員と育友会（保護者）・地域連携で育む」

※咸宜園教育の理念『敬天・休道・師弟同行・一張一弛』を心に留めて指導

*敬天：道徳・生活指導面で

休道・師弟同行：清掃・勤労活動で

一張一弛：チーム会活動などで

※「錐と槌」を基盤

～適材適所で役割を果たすとともに、一個人としても「錐と槌」の両面をもつ

2 学校教育目標

豊かな人間性と学びに向かい続ける力を身につけ、たくましく行動できる子ども

もの育成

豊かな人間性：多様性を認めることができる（多様性・柔軟性）

学びに向かい続ける力：社会の中で学び続けるための基本的な力

（考え抜く力・表現力）

たくましく行動：自律・協調の心と健やかな体を持ち自身の考えで行動

（自己制御力・状況把握力・主体性）

3 めざす学校像

○お互いを認め合い、笑顔と感謝のあふれる学校

○習得した知識・技能を生かし、学びに向かい続ける力を伸ばしていく学校

○子どもたちの健やかな成長を、地域とともにはぐくむ学校

4 めざす子ども像

- 最後までやり通す子
- 自分の考えをきちんと表し伝える子
- 分からないことを大切にすること
- 社会のルールの意味や大切さを理解する子
- 思いやりの心を持ち、人と関わろうとする子
- 多様な運動を経験しその楽しさを知り、進んで運動しようとする子
- 進んで体験しみんなで関わり合いながら自分の行動を工夫する子

5 重点目標

(1) 日隈ブランドを意識した子どもの育成（生活人権プロジェクトチーム）

【学校】生徒指導三機能を生かした指導を組入れた生活習慣の安定化

- ・担任が、毎週帰りの会等で学級の取組について振り返りをさせる
- ・担当が、月一回集会で生活人権の話を行う

【家庭】学校と連動した挨拶・身だしなみの取組実施

- ・保護者が、習慣化に向けて挨拶や会話など児童に声掛けを毎日一回はする

【地域】地域が子どもを守ることを意識した挨拶運動の実施

- ・毎月第2火曜に「日隈あいさつの日」を行う

(2) 場に応じて「自己表現」できる子どもの育成

【学校】自分の考えを表現することへの意欲と話題に沿って話し合う力の向上

- ・担任・担当が授業の中で話題に沿って発言する力を高める指導を行い、集会の場において個人発表を可能な限り実施する

【家庭】育友会と協働し、家庭での学習習慣を定着

- ・マルモリ学習を実施する

【地域】地域の学習指導員と協働し、ステップアップタイムで補充学習を実施

- ・週1回学習指導員が担任とともに学級の課題に応じた取り組みを支援する

(3) 休み時間は外に出て、体を動かす子どもの育成

【学校】体育実践の日常化と学級行事に合わせた元気アップ月間の設定

- ・体育専科教員・体育委員会が、各学期に1回、元気アップ月間を実施する

【学校】「早寝・早起き・朝ごはん」の定着

- ・担任・担当が学期ごとに「早寝・早起き・朝ごはん」の目標を立て実施

【家庭】体力向上拡充のため「一家庭一運動」の実施

- ・年3回の家族ふれあいスポーツウィークの実施

【地域】体力向上拡充のための体育環境整備

- ・担当・担任・地域の方が、運動場に跳び箱運動用の古タイヤを設置

- ・担当・地域の方が地域スポーツ大会の参加に向けた指導と練習
- 以上